

2025年度 アートサロン内テーマ展3

FAIRY TALE

フェアリーテイル -シンデレラの世界-

「シンデレラ」は、世界各地で語り継がれてきた民話で、原型は古代にまで遡るとも言われます。貧しく虐げられた娘が助けを得て身を立てるという骨格は共通しながら、誰が手を差し伸べるのか、どのように運命が開かれるのかは、語られた地域や文化によって大きく異なります。中でもよく知られるのが、フランスのペロー版とドイツのグリム版です。

20世紀初頭の英国では印刷技術が飛躍的に発展し、挿絵本が数多く生まれました。シンデレラはその代表的題材となり、アーサー・ラッカムやエドモンド・デュラックらが、物語を視覚的に再解釈する華麗な「挿絵の黄金期」を築きます。本展では、挿絵家たちが描いたさまざまなシンデレラ像の違いをご覧ください。

2025
11.5 水

2026
2.1 日

うつのみや妖精ミュージアム

絵：エドモンド・デュラック『フランス十字軍のためのエドモンド・デュラックの絵本』「シンデレラ」(1916年頃)